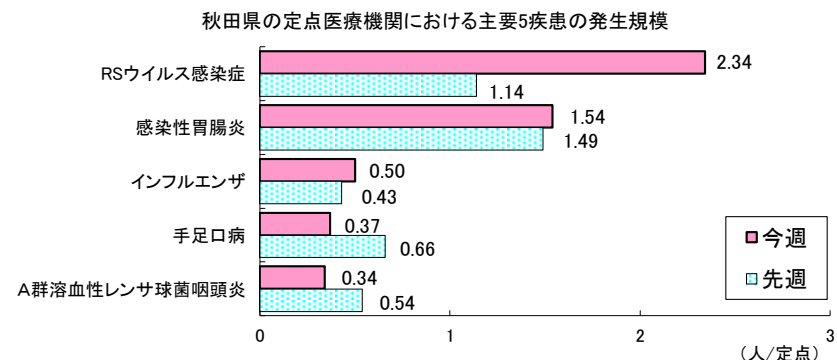




【第40週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

- RSウイルス感染症は、県全体で2.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、秋田中央、由利本荘、湯沢で増加、大仙、横手で同規模となっています。
- 感染性胃腸炎は、県全体でほぼ同規模です。保健所別では、秋田市、大館、能代、秋田中央で増加、大仙、横手で同規模、北秋田、湯沢で減少しています。
- インフルエンザは、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、由利本荘で増加、大館、秋田中央、大仙で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減			
RSウイルス感染症	1.14	2.34	↗	0.57	2.43	↗	3.25	7.50	↗	1.00	3.00	↗				0.25	1.00	↗	0.75	1.50	↗	0.50	0.50		4.33	4.33		0.50	1.00	↗
インフルエンザ	0.43	0.50	↗	0.55	0.64	↗	1.43	1.00	↘		0.33	↗				0.67	0.17	↘	0.33	1.83	↗	0.14		↘						
咽頭結膜熱	0.06	0.06														0.50		↘					0.25	↗					0.25	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.54	0.34	↘	0.57	0.71	↗	0.50		↘					0.33	↗	0.75	0.75					2.25	0.50	↘				0.25	0.25	
感染性胃腸炎	1.49	1.54	↗	3.14	3.71	↗	1.00	1.25	↗	1.00		↘	2.33	3.00	↗	1.50	1.75	↗				0.75	0.75		0.67	0.67		1.50	0.50	↘
水痘	0.03	0.14	↗		0.14	↗	0.25						0.25	0.33	↗								0.75	↗						
手足口病	0.66	0.37	↘	0.14	0.29	↗	0.75	0.50	↘	0.50	0.50		0.33		↘	2.00	1.25	↘		0.25	↗	1.00		↘	1.00	0.67	↘	0.50		↘
伝染性紅斑		0.11	↗		0.29	↗								0.33	↗					0.25	↗									
突発性発しん	0.20	0.17	↘	0.29	0.57	↗							0.33	0.33					0.25	↗	0.25		↘	1.00		↘				
ヘルパンギーナ	0.09	0.20	↗							0.50		↘				0.25		↘		1.25	↗					0.67	↗	0.25		↘
流行性耳下腺炎		0.03	↗		0.14	↗																								
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎	0.29	0.29		0.67	0.67					*	*		*	*		*	*											*	*	
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.13	0.25	↗	1.00	1.00											*	*			1.00	↗									
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)が大仙保健所管内から1人、梅毒が大仙保健所管内から1人、破傷風が秋田市保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から5人、北秋田保健所管内から8人、大仙保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-39週	40週	計
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ベスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	15992	85	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	レフトスピラ症			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	ロッキー山紅斑熱			
三類	コレラ	4		
	細菌性赤痢	74	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	2900	33	
	腸チフス	32		
	バラチフス	13		
四類	E型肝炎	383	3	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	357	7	
	エキノコックス症	16		
	黄熱			
	オウム病	13		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	4		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	80		
	腎症候性出血熱			
西部ウマ脳炎				
タニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-39週	40週	計
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	37		
	つつが虫病	84	5	
	デング熱	349	1	
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	187		
	日本脳炎	2		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	44		
	野兔病			
	ライム病	11		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	2			
レジオネラ症	1781	12	1	
レフトスピラ症	16			
アトピー性皮膚炎	659	4		
ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	256		1	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1617	12		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	60			
急性脳炎	671	4		
クリプトスポリジウム症	16			
クロイツフェルト・ヤコブ病	143	1		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	687	3		
後天性免疫不全症候群	880			
ジアルジア症	34			
侵襲性インフルエンザ菌感染症	430	2		
侵襲性髄膜炎菌感染症	37			
侵襲性肺炎球菌感染症	2434	13		
水痘(入院例に限る)	360	8		
先天性風しん症候群	3			
梅毒	4954	17	1	
播種性クリプトコックス症	109			
破傷風	98	2	1	
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	57			
百日咳	12997	141	14	
風しん	2210	3		
麻しん	707			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	24			

トピック

<水痘(水ぼうそう)に気をつけましょう>

水痘は、水痘・带状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹症の1つです。主に小児の病気で、9歳以下での発症がほとんどです。成人が発症することはまれですが、小児よりも重症化しやすいとされています。感染力が非常に強く、患者は年間を通して報告されていますが、秋から冬にかけて増加する傾向にあるため、注意が必要です(図)。

■症状

感染から2~3週間程度の潜伏期間後、発熱に続いて発疹が現れます。発疹は全身性でかゆみを伴い、紅斑、丘疹、水疱となった後、かさぶたができます。水痘に罹患した場合は、学校保健安全法により、全ての発疹がかさぶたになるまでは学校等へは出席停止となります。小児では熱性けいれん、肺炎、気管支炎等の合併症を起こす場合もあります。

一度感染すると終生免疫ができ、もう一度罹ることはありません。しかし、ウイルスは治癒後も神経節に潜伏し、体調不良や過労など、免疫力が落ちた時に再活性化し、発疹と激しい痛みを伴う「带状疱疹」を引き起こすことがあります。

■予防

予防にはワクチンが有効です。水痘ワクチンの定期接種は、生後12ヶ月から生後36ヶ月までの方(1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日までの方)を対象としており、無料で受けられます。まだワクチン接種がお済みでない方は医療機関にご相談ください。また、自己負担ではありますが、50歳以上の方の带状疱疹予防にも水痘ワクチン接種ができますのでご検討ください。

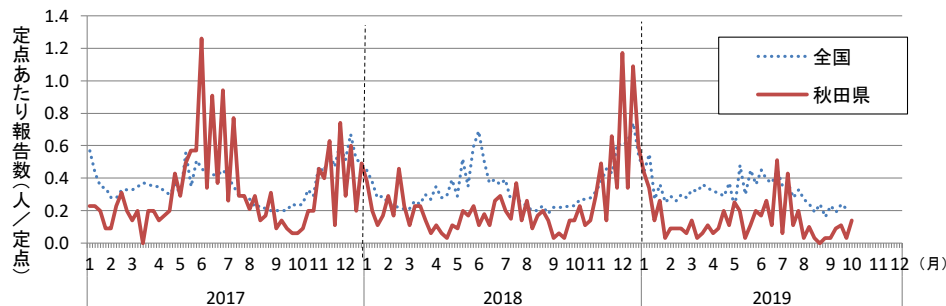


図 全国と秋田県における水痘の患者発生動向
※2019年: 全国は第39週、秋田県は第40週現在

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症による集団発生報告が3件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
大館市	大館八幡こども園	10/1	169 名のうち 20 名	45 名のうち 0 名	20 名	9/23 ~ 10/1	発熱、鼻汁、咳
北秋田市	鷹巣中央保育園	10/3	118 名のうち 9 名	31 名のうち 0 名	9 名	9/25 ~ 10/3	発熱、鼻汁、咳
大館市	有浦保育園	10/4	133 名のうち 10 名	37 名のうち 0 名	10 名	9/29 ~ 10/3	発熱、咳



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		